

鹿追焼

鹿追焼は、鹿追美蔓地区から出土する良質な粘土を原料としています。

この鹿追焼が郷土が誇る工芸品として、多くの人々に愛され育てられることを心から願うものであります。

鹿追窯



「鹿追焼」

鹿追焼は、昭和 47 年に鹿追美蔓坂改良工事中に出土した粘土が陶土に適している事がきっかけとなり、昭和 50 年に鹿追窯が開窯しました。以来、鹿追町の郷土工芸として人々に愛され育てられてきました。

1、「土」

【郷土の土】

鹿追美蔓地区より出土する粘土は、3種類あります。地表の荒い褐色土、中層部に黄色土、深層部に白色土があり微粒子で可塑性が高く火に強いことが特徴です。

鹿追焼は、これら3種類の粘土を主原料として制作しています。又この粘土は、よく焼き締まるため釉薬を施さずに焼いても水を通しづらいことから炝器土とも呼ばれます。

2、「釉」くすり

【オリジナルの伝統色】

受け継がれた伝統色は、原料を吟味して調合した鹿追窯のオリジナルです。灰釉、織部釉などが代表する釉薬ですが、白マット釉、天目釉、飴釉などの釉薬も数多く作られています。



4、「炎」

【高性能な炉と多種の焼成】

小型電気炉、大型電気炉、ガス炉を操作し、【酸化炎、中性炎、還元炎、炭化炎】などの焼成方法と積み重ねた経験と知識で、様々な種類の作品を焼き上げ消費者のニーズに応えます。

鹿追窯

〒081-0222

河東郡鹿追町東町3丁目
町民ホール内陶芸工作館
TEL0156-66-3738

【営業時間】

8時30分～17時15分
休日：土・日・祝日

3、「技」

【受け継がれた技法と熟練した成形技術】

鹿追焼の源流は岡山県の備前焼にあり、釉薬を施さず稲藁を作品に巻き付けて焼く緋襷が代表的な技法となっています。また、木炭を使った黒焼締めなど特殊な焼き方で作品も作っています。